第 32 回稲取水産祭りが開催される

伊豆漁協稲取支所主催の「第 32 回稲取水産祭り」が、5 月 4 日（みどりの日）に同支所の荷捌き場で開催されました。この水産祭りは、稲取の水産物を利用している消費者に対しての感謝の気持ちから始まった催しで、毎年 5 月の連休に行われており、今年は 32 回目になりました。残念ながら今年は開催日前の天候が悪かったため、稲取キンメや定置網の水揚げがなく、冷凍の稲取キンメを販売することになりましたが、当日は天候にも恵まれ、水産祭り開始直後から賑わっていました（写真 1）。

写真 1　祭り開始直後の風景

また、稲取支所青壮年部によるサザエつぼ焼きやイカ焼き等を提供するお楽しみコーナー、稲取名物の「げんなり寿司」の販売、恒例のもちまき大会の他、東部地区漁業士会からいとう漁業協同組合の定置網で漁獲され、骨肉分離機で処理した朝獲れ加工のサバのすり身の試食・販売も行われました（写真 2）

写真 2　東部地区漁業士会ブース

当場は、水産祭りの特別企画として行われた「稲取キンメの脂の乗りを当てよう！」クイズに協力し、会場の一角で近赤外線を利用した脂肪含有率測定器を用いて、3 尾のキンメダイの脂肪含有率を測定し、その中から最も脂肪含有率の高いキンメダイを当てた方の中から 3 人に稲取キンメを、その他の方々にも伊豆漁協や東伊豆町観光関係者等から様々なプレゼントが用意され、会場は大いに賑わいました（写真 3）。

写真 3　水産祭りの特別企画

稲取キンメは、漁業にとっても観光業などにとっても地域経済を支える大きな柱の一つとなっています。稲取支所青壮年部によるキンメダイの売り出しから始まった稲取水産祭りが長く続き、地域全体も活性化してほしいと思います。

（飯沼紀雄）